

# 東大工学部に推薦合格

松本市の中高一貫の松本秀峰中等教育学校を今春卒業した水橋大瑠さん(16)＝安曇野市＝が、東京大学工学部に推薦で合格した。同校によると、中南信地域の学校から推薦合格

松本秀峰  
中教校卒 水橋さん＝安曇野

者が出たのは初めて。水橋さんは「専門科目だけでなく、一般教養も学びながら、多角的な視点を身に付けたい」と話す。

(中津芳子)



東大に推薦合格し「多角的な視点を身に付けたい」と話す水橋さん＝松本秀峰中等教育学校で

東大の推薦入試は二書のほか、特色ある活動について一六年度から始まった。小論文や志望理由書が必要。面接に加えてセ

ンター試験の受験も必要。事業「未踏IT人材発掘・育成事業」に参加。安曇野市内の自宅で見も良いという。

要で、高い学力が求められる。水橋さんは「高いレベルで勉強したい」と、学校の授業とは別に、地元の公立小から松本秀峰へ。同校一年時で勉強を続けている。「勉強しろ」と言われたことはないという。

## 中南信「AI研究めざす」

ロボットに関する特別講座でプログラミング(3むは水橋さん)について触れ、夢中になった。その後、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)のソフトウェア開発人材発掘・育成

担任の芹沢卓教諭は「好きな言葉は『禍福は糾(よ)る縄の如し』。幸せと不幸は表裏一体で、かわるがわる来るものだ」という例えだ。将来は「人工知能(AI)や暗号理論の研究職をめざしたい」と目を輝かせた。